

日本史A NO.03

○第1回普通選挙と積極外交への転換(その2)

(2)(田中義一)内閣

衝撃を受けた田中義一内閣は、**日本共産党**(≒社会主義の政党)を**弾圧**した。

(三・一五事件)、**1928**年

第1回普通選挙直後に、**日本共産党員**千余人を**検挙**した。

治安維持法改正、1928年

最高刑を死刑とした。

【←→治安維持法**制定**は**1925**年、**加藤高明**内閣】

〔緊急勅令によって改正した〕

特別高等警察(=特高)

1911年、**警視庁**(≒管轄は東京のみ)に設置され、**思想犯・政治犯**を

取り締まっていた特別高等警察(=特高≒特別高等課)を**全国**に設置した。

(四・一六事件)、1929年

三・一五事件に続く、**日本共産党**に対する**弾圧**事件。

協調外交→積極外交

(3)**田中義一**内閣の対**中国**外交

幣原喜重郎による**協調外交**(≒軟弱外交)は、

1927年、田中義一内閣が成立すると(積極外交)(=強硬外交)へと**転換**された。

***立憲民政党**(：幣原喜重郎…協調外交)と

立憲政友会(：田中義一…積極外交)の**対立**が陰に存在した。

(4)当時の**中国**

(第一次国共合作)、1924年

中国国民党と**中国共産党**の連携。

打倒(軍閥)などをめざした。

↳ 当時**中国北方**に多かった、**軍人**出身の**政治勢力**。(=北方軍閥)

(北伐)、1926～1928年

(蒋介石…(中国)**国民党**、孫文の後継者)を総司令官とした

国民革命軍(≒(中国)国民党の軍隊)は、

親日派であり、**日本の支援**で**満州を統一**した

満州軍閥(≒北方軍閥)の巨頭であった(張作霖)を**打倒**し、

中国を統一するため、軍事行動をとっていた。

○第1回普通選挙と積極外交への転換(その3)

(4)当時の**中国**(その2)

(国民政府)樹立、1927年

国民党の指導する政府が、**南京**に樹立された。主席は、**蒋介石**。

(この際、**国共合作**は**放棄**されている)

「中国統一の前」であることに注意すること。

(5)(田中義一)内閣の**積極外交**(=強硬外交)

(山東出兵)、**1927**～1928年

北伐干渉のため、山東半島へ出兵。

第一次山東出兵～**第三次**山東出兵。

日本人居留民保護を名目に、張作霖支援のためであった。

東方会議、1927年

第一次山東出兵直後、田中義一首相が中国関係の外交官・軍人を

召集して、対中国**積極政策**を**決定**した会議。

(済南事件)、1928年

日本軍による**第二次山東出兵**の際、北伐途上の**国民革命軍**と**衝突**した事件。

(関東軍)

満州におかれた**日本の陸軍部隊**。

関東都督府が1919年に改組された際、行政担当の**関東庁**と、

軍事担当の**関東軍**〔…陸軍部から独立した〕に、分離された。

(張作霖爆殺事件)、**1928**年

関東軍は、張作霖の勢力では蒋介石の**国民革命軍**に**歯が立たない**、

と判断し、奉天郊外にて張作霖を爆殺した。

当時、真実は**国民に知らされず**、(満州某重大事件)といわれた。

→責任者処罰が軽すぎる等、**昭和天皇**の**不信**をかい、

田中義一内閣は**総辞職**、1929年。

(6)張作霖爆殺事件**以後**の**中国**

張作霖の**息子**であり、満州を支配した(張学良)は、

北伐を行っていた**国民政府**に**合流**した、1928年。

ここに**中国**はほぼ(統一)された。

→**国権回復運動**(≒**反日運動**・抗日運動)へ。

(7)**田中義一内閣**の主な取り組み

モラトリアム。

日本共産党弾圧(≒社会主義運動弾圧)。

(対中国)積極政策。